

### 大成児童センター「新春もちまつり」大盛況



大成児童センター（苫小牧市大成町1）が1月13日、「新春もちまつり」を開きました。これまではセンターを利用する児童の新年会で行っていたもちつきを、誰でも参加できる地域食堂のような形で開催。幼い子ども連れの家族から高齢者まで、大勢の人が詰めかけました。同センターのスタッフは、応援の大成町公住町内会と西町親交会のメンバーとともに15kgのもちを準備。きなこやあんこなどのトッピングと雑煮を用意してふるまいました。来場者はお腹いっぱい味わい、最後は同センター前でもちまきを楽しみました。

### 全国各地の企業が提供 カレンダー・リサイクル市



白老町社会福祉協議会は1月15～18日、「カレンダー・リサイクル市」を町総合保健福祉センター（東町1）で開催しました。同イベントは全国各地の企業から寄せられるカレンダーを中心に、手帳や文房具などを募金形式で販売。毎年人気を集めています。初日は開場前から20人以上が列を作っていました。今年も15,000点を超える品ぞろえで、人気の高い日めくりや文字の大きなカレンダーのほか、乗り物や動物など種類ごとに分けられたコーナーでは、町民らがじっくり品定めをしていました。4日間で集まった収益金は、ボランティア活動の運営資金などに使われます。

## いきいきひろば

### ランニングバイク苫小牧カップ ちびっ子ライダー70人が集結



▲熱いレースを展開

ランニングバイクレース苫小牧カップ（苫小牧カップ実行委員会主催）が1月6、7日の両日、苫小牧市総合体育館（末広町3）で初めて開かれました。ランニングバイクは足で蹴って前へ進むペダルのない二輪車。未就学児童たちが自転車に乗る前の練習にも役立つと言われ、人気を集めています。この日は苫小牧市内をはじめ札幌や千歳、函館など道内各地から2～6歳の子どもたち約70人が集まりました。ちびっ子ライダーたちは年代別に分かれ、父母らの声援を受けながら会場内に設けた全長90mの特設コースを懸命に走り、レースを楽しみました。実行委メンバーは「夏にもまた苫小牧で開催したい」と話しています。



▲表彰を受け喜び子どもたち

### バーニングバレットが優勝 全道小学アイスホッケー選手権



▲優勝に輝いたバーニングバレット（写真はチーム提供）

第38回全道小学生アイスホッケー選手権大会が1月6～8日に釧路市内で行われ、決勝に勝ち進んだ苫小牧第1代表のバーニングバレットが6対4で幕別浦幌アイスホッケー少年団（帯広）を下し、見事優勝を果たしました。大会は道アイスホッケー連盟などが主催。苫小牧と札幌、帯広、釧路、旭川の各予選会を勝ち抜いた14チームが参加し、熱いトーナメント戦を繰り広げました。同大会では3年連続で苫小牧勢が頂点に輝いています。バーニングバレットの1条友樹監督は「勝ちたいという選手たちの気持ちで1試合目から強く続いていたこと、指示したことを的確に行ってくれたのが優勝へつながったと思います。この調子のまま今シーズンを勝ち続けたい」と話していました。